

■2008Maison&Objet・傾向その1 (パターン)

2008.02.21・Report-大場 5/8

*パターンの傾向としては、自然界からのモチーフが目立つ。その他として日本(アジア)的なイメージ感のある幾何柄や、ドッツパターンがどのアイテムにも共通して多い様に感じた。

<自然からのインスピレーション>

人間・動物・昆虫・きのこ・鳥など自然をイメージするモチーフが多く見受けられる。中には波がらをファブリックスのパターンにしている会社も見受けられた。



<日本・アジア的な幾何柄>

日本的なイメージのする幾何柄が多く見受けられる。(海外の方から見ればアジア的に見えている様にも感じるが...) カラーリングによってアール・デコのイメージにも見て取れる。ファブリックスに多い。



<ドッツパターン>

日本でもはや定番柄といえる水玉柄が、今回も多く見受けられる。プロダクトアイテムはフォルムにサークル型を使用しているケースが多い様に思う。モダンに扱われている所が特徴と言える。



■2008Maison&Objet・傾向その2 (カラー)

2008.02.21・Report-大場 6/8

*カラーの傾向としては、ブラックの割合が相変わらず高いもののブライトトーンのカラーが差し色として入って来ている。又自然からのカラーとしてオーガニック&トルコ石カラーが目立つ。

<ブラック&ブライトトーン>

モノトーン+明るいカラーの組み合わせが、多くなって来ている。黒とのコーディネートでよりカラーが綺麗に見える様だ。



<オーガニックカラー&トルコ石カラー>

ナチュラルな素材の増加に伴い、カラーもオーガニックカラーが増えて来ている。又、自然カラーとしてトルコ石カラーもアクセントカラーとして注目したい。



<レッド~パープルの暖色グラデーション>

ウル素材の登場で、レッド~パープルカラーが改めて新鮮に感じる。深みのあるカラーリングで、派手さだけでなく大人らしく、モダンに見える所が魅力的。グリーンとのコーディネートでより新鮮に!



<光沢カラー>

相変わらず光沢感のある物が多い。シルバーゴールド問わず多いが多少使い古した感じの光沢が新鮮に見える。アンティークな光沢と表現すると分かり易いかも知れない。

